

専門科目 産業環境保健学分野

(博士後期課程)

科目名	産業中毒学特論	code number : OEH 351	選択必修	1 単位
-----	---------	--------------------------	------	------

科目責任者	津田 洋子 講師						
配当年次	1年次	配当学期	後期(後半)	曜日・時限	水曜 3,4時限	授業方法	講義

1. 授業の概要

産業現場でひとが有害要因に曝露することにより特異的、非特異的な健康障害がひき起こされることがある。このコースでは代表的な産業有害要因について現場での曝露態様、管理、規制および新規の問題の発見と研究について考える。受講にあたっては一定の基礎知識と能力および毎回の事前準備が必要であるので、履修しようとする者は科目責任者と事前の話し合いを持つこと。

2. 授業の到達目標

【一般目標(GIO)】

1. 有機溶剤、重金属など代表的な産業有害要因による健康障害について、医・生物学的な基礎からその機序を理解する。
2. 産業有害要因による健康障害の毒性学的な機序の理解に立ってその診断・検査・管理を考えることができる。
3. 産業現場における新たな健康障害発見の事例を学び、法律制度を超えた有害要因への対応ができる専門職能力の養成を目指す。

【行動目標(SBO)】

1. 代表的な産業有害要因による健康障害について、医・生物学的な基礎からその機序を説明できる。
2. 産業有害要因による健康障害の診断・検査・管理を毒性学的な機序と関連付けて説明できる。
3. 産業現場における新規の健康障害事例に対し、その原因同定や対策のために行うべき調査研究を立案できる。
4. 産業有害要因の許容濃度、管理指針作成のために考慮すべきことを列挙できる。

3. 成績評価の方法および基準

- (1) レポート(60%)
- (2) 発表(30%)
- (3) 議論への参加(10%)
- (4) レポートを再提出または期限内に遅れて提出の場合は、原則として減点の対象とする。

4. 教科書・テキスト

- ・Peter J Baxter, et al., Hunter's Disease of Occupations, Hodder Arnold.
- ・中央災害防止協会, 労働衛生のしおり.

5. 参考書

- ・中央災害防止協会, 目で見る職業病と労働環境
- ・葉業時報社, 中毒学概論-毒の科学-. Anthony T.Tu, 1999

6. 事前事後学修の内容およびそれに必要な時間

- ・Peter J Baxter, et al., Hunter's Disease of Occupations, Hodder Arnold. の該当箇所を事前に読んでおく。
- ・当該期間に15時間以上の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

- ・試験やレポートに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

<授業計画>

産業中毒学特論

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	11/11(水)	3	津田 洋子 講師	環境因子による健康障害の評価と管理 (総論) ・代表的な産業有害要因/・産業現場における新規の健康障害事例
2	11/11(水)	4	津田 洋子 講師	毒性学(総論) ・栄養と毒性/摂取・分布・代謝・排泄・解毒代謝
3	11/25(水)	3	福田 吉治 教授	化学物質の皮膚毒性(総論と事例)
4	11/25(水)	4	福田 吉治 教授	有害要因に対する健康管理
5	12/4(金)	3	津田 洋子 講師	許容濃度、管理濃度、IARC発がん分類 ・指針作成のために考慮すべき事柄/・指針決定に必要な調査研究結果
6	12/4(金)	4	津田 洋子 講師	環境有害物質に関する疫学調査事例
7	12/16(水)	3	宮川 宗之 教授	神経毒性・生殖毒性(総論)
8	12/16(水)	4	宮川 宗之 教授	神経毒性・生殖毒性(事例研究)